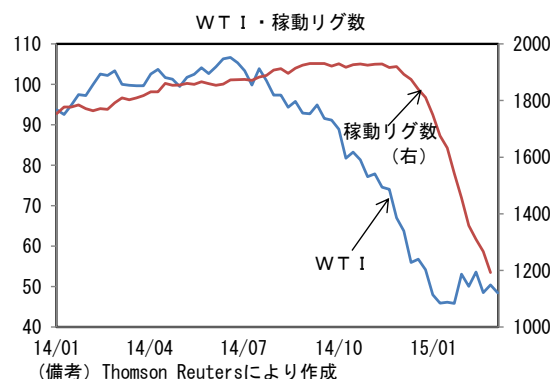
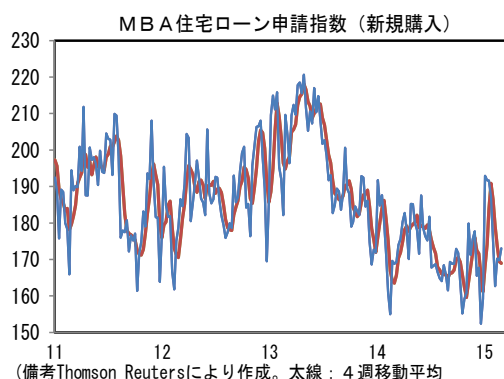


【海外経済指標他】～原油：利上げに耐えられるか～

- ・MBAモーゲージ申請指数（新規購入）は前週比+1.9%と2週間ぶりに反発。ただし、4週移動平均は5週連続で減少しており、年初から一進一退の展開となっている。
- ・WTI原油は50ドル±3ドルのレンジが継続。USD高・米金利上昇を受け金融商品としての魅力が後退する一方、稼動リグ数減少が需給悪化懸念を緩和。目先のダウンサイドリスクは米金利上昇によって利息・配当を生まない原油の魅力が後退することだろう。逆にそれを耐え凌いだ場合は底堅さを増すと予想される。

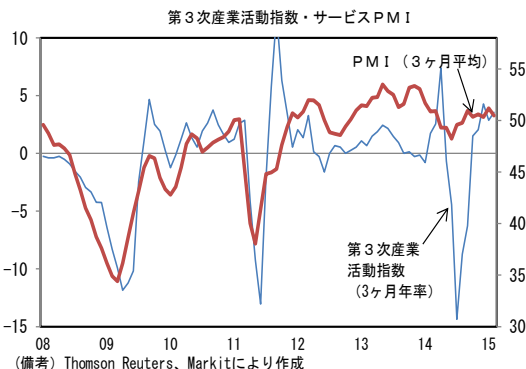


【海外株式市場・外国為替相場・債券市場】

- ・前日の米国はUSD高が逆風となり続落。欧州株はQEラリー継続。独DAXは2.65%上昇した。
- ・前日のG10通貨はUSDの強さが目立った一方、EURの弱さが目立った。EUR/USDは米欧金利差拡大に沿う格好で1.05へ急落。USD買いの流れがその他通貨に波及したこともありUSD/JPYは121半ばを回復。
- ・米10年金利は▲2.1bpの2.109%。この日も欧州債ラリーに追随。欧州債市場では独10年金利が一時0.2%を割れ、30年金利は0.7%を割れた。イタリア、スペイン、ポルトガル10年金利も一段と低下した。

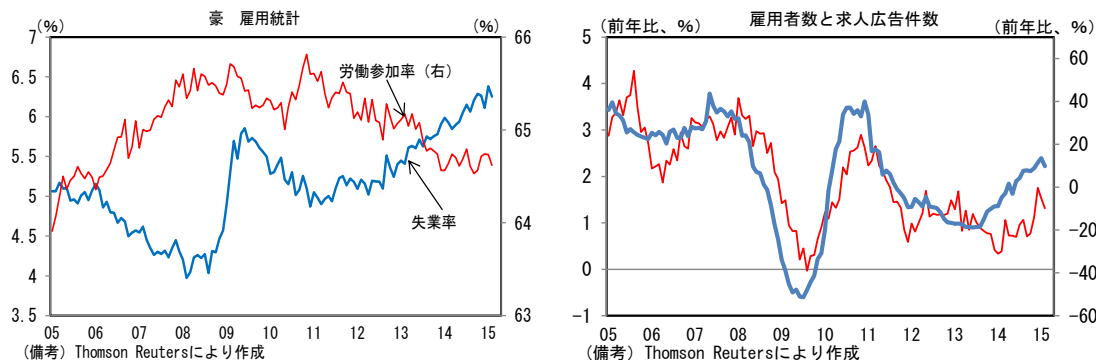
【国内株式市場・経済指標他】～相変わらずの好需給～

- ・日本株は欧州株ラリーに追随。業績期待、株主還元、好需給も追い風となり、上値追い。
- ・1月第3次産業活動指数は前月比+1.4%と急伸。消費増税に伴う駆け込み需要発生前の水準を概ね回復した。唐突な改善にやや違和感を覚えるかもしれないが、増税後の同指数がサービスPMIと比較して異様に軟調だったことを踏まえれば、単に納得感のある水準に回帰したとの見方もできる。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

- ・1月豪雇用統計によると雇用者数は+1.56万人と市場予想（+1.50万人）を上回った。正規雇用者数が1.03万人増加したうえ、非常勤雇用者数も0.53万人増加。他方、失業率は6.3%と0.1%pt低下したが、労働参加率低下（64.7%→64.6%）が影響しているため内容は良くない。就業率も小数点2以下で低下した。ただ、それでも先行きは、雇用の先行指標となる求人広告件数が過去数ヶ月に伸びを高めているほか、PMIやNAB調査の雇用判断指数も改善基調にあり、雇用者数増加ペースの加速が示唆されている。労働市場の回復力は力強さを増すと判断される。



【注目点】～QE効果が凄まじい～

- ・ECBのQE効果が凄まじく、目を疑うような金利低下・ユーロ安・株高が進行中。独10年金利のマイナス圏突入といった超異常事態すら現実味を帯びるなかでEUR/USDのパリティ到達は今や現実的なターゲットになっている。名目金利（スワップ金利）を期待インフレ率で調整した米欧実質金利差はECBとFEDが真逆の金融政策に舵を切ったことを色濃く反映しており、EUR/USDの一層の下落を支持している。今後、FEDが利上げを開始するのをよそにECBが緩和姿勢を固持すれば、一段と実質金利がEUR/USD下落を支持する方向に動くことは想像に難くないし、また実際にそうなるだろう。年内にEUR/USDはパリティをブレイクし、そこから更に下落すると予想する。年末のターゲットを0.97に設定する。



<主要株価指数>

	終値	前日比
日経平均※	18928.66	205.14
NYダウ	17,635.39	-27.55
DAX (独)	11,805.99	305.61
FTSE100 (英)	6,721.51	18.67
CAC40 (仏)	4,997.75	115.80

<外国為替>※

USD/JPY	121.63	0.18
EUR/USD	1.0511	-0.00

<長期金利>※

日本	0.399 %	-0.021 %
米国	2.109 %	-0.021 %
英国	1.813 %	0.017 %
ドイツ	0.209 %	-0.025 %
フランス	0.483 %	-0.041 %
イタリア	1.128 %	-0.091 %
スペイン	1.154 %	-0.088 %

<商品>

NY原油	48.17 ドル	-0.12 ドル
NY金	1150.60 ドル	-9.50 ドル

※は右上記載時刻における直近値。図中の点線は前日終値。

(出所) Bloomberg

